



とべだより

令和4年8月31日

9月号

横浜市立戸部小学校

学校教育目標： それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部

子どもの力を引き出すために

学校長 保科 優子



3年ぶりに、行動制限のない夏休み。報道では連日のように、久しぶりにお盆に帰省された方々や旅行を楽しんだ方々、また、地域の行事などで盛り上がっている様子などが取り上げられていました。皆様はどのような夏休みを過ごされましたでしょうか。

戸部小学校では夏休みに入る直前、保護者や地域の皆様のご尽力により今年も「ふれあいの夕べ」を開催することができました。今年度は、ミニSLも校庭を走りました。途中通り雨もありましたが、とても盛り上がり楽しい時間になりました。ご尽力くださいました皆様方、本当にありがとうございました。

そして、長い夏休みを終え、子どもたちの元気な声が戻ってきました。戸部小学校では、夏休みが終わると、すぐに「とべとべスポーツフェスティバル2022」に向けた練習等が始まります。子どもも大人も忙しい日々となりますが、我々教職員はその忙しさに飲み込まれることなく、子どもたち自身が、自分で考え自分から動くことができる子になってほしいと願い、教育活動に取り組んでいます。特に、研究を重ねている生活科、総合的な学習の時間を中心に、子どもの「〇〇ができるようになりたい」「地域の方と一緒に〇〇したい」という夢に向かって、その夢を実現させるために、「こうなるためには、もっとこうしないと」といった子ども自身の力を引き出すことができるよう支援しています。教えてしまったほうが早かったり、効率が良かったりしますが、それでは子どもにとって本当の力にはなりません。子どもたちが試行錯誤を繰り返し、自分で自分の学びを調整していけるようにすることが大切であると考え、そのための支援の仕方について我々も学び続けているところです。

まだまだコロナの感染者は多く、戸部小学校も例外ではありません。今後もコロナの感染状況によっては、学校での教育活動を変えなくてはいけないこともあるかもしれませんが、どのような状況になろうとも、感染対策をしっかりとしつつ、できることをできる形で行い、子どもたちと一緒に乗り越えていきたいと思っています。

保護者、地域の皆様、今後もより一層のご協力をお願いいたします。